

記入例

 /

令和 6年 4月 1日

社協議会長 様

令和5年度 地域福祉活動助成事業 サロン・見守り活動実績報告書

1. 団体・代表者および連絡先の情報

(1)団体・活動の代表者 ※必ず記入してください			
活動する地域の自治会名	前橋町自治会	代表者氏名 (フリガナ)	マエバシ タロウ
			前橋 太郎

(2)サロン代表者 ※(1)と同じ場合は記入不要	
サロン代表者氏名	(フリガナ) コウリュウ ヨシオ 交流 義男

(3)見守り活動代表者 ※(1)と同じ場合は記入不要	
見守り代表者氏名	(フリガナ) ミマモリ ヤスコ 見守 泰子

2. 交付を受けた助成金 (本様式で報告する内容)

助成金の区分 ※交付を受けているものにレ点を記入してください		
交流(サロン)事業助成金	30,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>
見守り事業助成金	30,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>

申請している
区分に✓チェック

3. 収支予算内訳 ※総会資料等、別途添付の場合は記載不要

	項目	当初予算額	実績額
収入	前橋市社会福祉協議会	60,000 円	60,000 円
	自治会助成交付金	20,000 円	30,000 円
	参加費収入	30,000 円	18,300 円
	前年度繰越	10,000 円	10,000 円
	その他の収入	円	3,000 円
			円
	計	120,000 円	121,300 円

	項目	当初予算額	実績額
支出	茶菓子代 (サロン・訪問用)	44,800 円	42,255 円
	消耗品費	30,600 円	25,318 円
	印刷費	33,200 円	29,100 円
	サロン傷害補償	3,900 円	3,900 円
	雑費	7,500 円	2,590 円
	次年度繰越金	円	18,137 円
		計	120,000 円

予算額は申請書に記載
した額をご記入ください

収入と支出額は
必ず一致させる

余剰額は
次年度繰越金へ

4. 事業の実績

交流事業（ふれあい・いきいきサロン） ※見守り助成のみ申請の場合は記入不要			
サロン名	前橋町ふれあいサロン		開催頻度 週1回以上・月2回以上 月1回・月1回未満
延参加者	参加者 <u>183</u> 人 担い手 <u>97</u> 人 その他 <u>2</u> 人		
	参加者の年齢男女別内訳 ※分かる範囲でご記入ください		
	年齢層	男性	女性
	65歳未満	0人	1人
	65歳～74歳	28人	89人
75歳以上	13人	52人	
活動内容	一番多かった活動内容に(1)を、二番目に多かった活動内容に(2)を記入してください。		
	()会食・飲食物配布 (1)体操・運動 ()茶話会 ()認知症予防 (2)レクリエーション ()趣味活動 ()生涯学習 ()多世代交流 ()ボランティア活動 ()農作業 ()その他()		
	体操や運動（ピンシャン・ウォーキング等）をサロンで行った頻度を教えてください。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 毎回実施 <input type="checkbox"/> 不定期実施 <input type="checkbox"/> 行っていない		
その他	サロンの課題や悩みごと、または今年度工夫したこと・良かったこと等があればご記入ください。 ・ コロナが落ち着き、茶話会を再開したところ参加者が増えた。 ・ ボッチャを初めて取り入れたところ、大変好評だった。 ・ 受付やお茶菓子の準備等、参加者にも無理のない範囲でお手伝いをお願いした。参加者も「このくらいならできるよ」と積極的に協力してくれ、サロンに一体感が生まれた。		
見守り活動実施状況 ※サロン助成のみ申請の場合は記入不要			
見守り活動者	自治会関係者・民生児童委員・老人会・保健推進員・ボランティア その他（ 介護予防サポーター ）		
見守り対象者	（ 65 ）歳以上の一人暮らし・高齢者のみの世帯・児童 その他（ 障害のある方、子育て世帯 ）		
見守り活動者 <u>35</u> 人 見守り対象者 <u>100</u> 人 訪問頻度 月・年 <u>2</u> 回程度			
会議頻度	月・年 <u>1</u> 回 ・ 町社協会議と同時開催 ・ 開催していない		
見守り方法	訪問型・さりげない目配り型・その他（ ）		
	具体的な見守り活動の内容・助成金活用の方法等をご記入ください。 ・ 2人1組で対象者宅を訪問し、異変があった場合は関係機関へつなぐ。 ・ 12月にマップを製作、見守り会議のメンバーに配布した。		
助成額について	30,000円/年は 少ない ・ <u>ちょうどいい</u> ・ 多い		
助成金の主な活用方法	・ 手土産 → ・ どのようなもの？（スポーツドリンク、カイロ ） ・ 手土産を持っていく頻度： 年・月 <u>4</u> 回 ・ その他（できるだけ具体的に記入をお願いします） 見守り対象者の情報共有を行う会議時のお茶代として活用した。		